

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	障害保健福祉制度普及関係経費等		担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部		作成責任者	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度		担当課室	企画課		中島 誠	
<b>会計区分</b>	一般会計		施策名	Ⅶ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		関係する計画、通知等	—			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	障害保健福祉制度の普及のための施策、障害保健福祉制度の改革のための検討会等を実施し、もって障害保健福祉を推進する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害保健福祉制度にかかる検討会等の実施</li> <li>・障害保健福祉制度にかかる広報、報告書、会議資料等の書類作成等</li> <li>・障害保健福祉制度の推進にかかる事務費等(監査指導、企画指導経費等)</li> </ul>						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計	337	317	219	219	215
	執行額	187	173	164	166		
	執行率(%)	55%	55%	75%	76%		
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	会議経費や行政事務経費、広報経費等、定量的な目標、達成度等を表すのになじまない、行政活動の基盤となる経費である。		成果実績	—	—	—	—
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助犬リーフレット・パンフレット・ポスター等(合計)の作成、関係機関等への配布数(平成23年度は、ステッカー20,000枚とリーフレット40,000枚のみ)		活動実績 (当初見込み)	枚	231,150	1,640,000	60,000
<b>単位当たりコスト</b>	15.67円(939,960円/60,000)		算出根拠	補助犬ステッカーとリーフレット1部あたりの作成・送付コスト(平均)。「単位あたりコスト=X/Y」 Xは印刷費939,960(円)、Yは作成枚数 60,000(枚数)とした。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	241,000	216,000	前年度の実績を反映			
	諸謝金	15,212,000	13,434,000	前年度の実績を反映			
	職員旅費	20,852,000	19,828,000	前年度の実績を反映			
	監査旅費	6,651,000	6,245,000	前年度の実績を反映			
	委員等旅費	30,494,000	30,009,000	前年度の実績を反映			
	庁費	47,759,000	47,853,000	障害者総合支援法の施行に向け、障害支援区分認定調査員指導者研修費を新規で要求しているため増額となった			
	社会保障関係情報化業務庁費等	98,140,000	98,002,000	前年度の実績を反映			
計	219,349,000	215,587,000					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	実績及び今後の障害保健福祉施策の検討見直し等を勘案し必要な額を計上する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>・本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	477	平成23年行政事業レビュー	434

(23年度実績)

厚生労働省  
166.2百万円

一般競争

随意契約

A. 民間会社（1社）1.5百万円

・障がい者制度改革推進会議の動画コンテンツ制作等業務

B. 民間会社等（44社）50.3百万円

- ・平成23年度精神科急性期医療等専門家養成研修参加費
- ・障害保健福祉関係主管課長会議資料の印刷
- ・全国厚生労働関係部局長会議(厚生分科会)資料の印刷
- ・行政書類保管業務
- ・精神科急性期医療等専門家養成研修通訳業務

C. 事務費 114.4百万円

職員旅費、消耗品・備品等購入等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	障がい者制度改革推進会議の動画コンテンツ制作等業務	1.5			
計		1.5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	印刷、手話通訳、会場借料等	37.2			
役務	平成23年度精神科急性期医療等専門家養成研修参加費	4.2			
印刷製本	障害者保健福祉関係主管課長会議資料の印刷	2.3			
印刷製本	全国厚生労働関係部局長会議資料の印刷	1.9			
役務	行政書類保管業務	1.7			
役務	精神科急性期医療等専門家養成研修通訳業務	1.6			
印刷製本	障がい者制度改革推進会議総合福祉部会資料の印刷	1.4			
計		50	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アステム	障がい者制度改革推進会議の動画コンテンツ制作等業務	1.5	9	37.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有限)正陽印刷	障害者保健福祉関係主管課長会議資料等の印刷	22.5	随意契約	
2	個人A	平成23年度精神科急性期医療等専門家養成研修参加費	4.2	随意契約	
3	協新流通デベロッパー(株)	行政文書保管業務等	3.5	随意契約	
4	大和総合印刷(株)	リーフレット(世界自閉症啓発デー)等の印刷	3.4	随意契約	
5	(福祉)全国社会福祉協議会	会場等借上一式 障害保健福祉関係主管課長会議等	2	随意契約	
6	個人B	精神科急性期医療等専門家養成研修通訳業務	1.6	随意契約	
7	(福祉)日本点字図書館	総合福祉部会資料作成等	1.6	随意契約	
8	(株)太陽美術	歳出予算要求額明細書等の印刷	1.3	随意契約	
9	ウェルリンク株式会社	「みんなのメンタルヘルス総合サイト」メンテナンス事業	1	随意契約	
10	福寿印刷(株)	身体障害者補助犬法の普及啓発用ステッカーの作成	0.9	随意契約	